フォーマットを変更しない。ＭＳ明朝10.5ポイントで記載。

数字はは半角。見出しは2字換算。

――――（以下に記入）――――

**Ｑ育休退園いつ廃止か**

**Ａ令和7年度を目指す**

Q 人件費が対前年度比1億8,266万円、扶助費が対前年度比9 億8,089万2,000円増加し、経常収支比率が95.1％と硬直化している。市長はどのように持続可能な市政運営を実施していくか。

A **市長**　これまで実施してきた事業について、必要性や有効性、歳入確保などの視点から、内容や金額を精査する338の事業総点検をし、令和7年度の予算編成から反映し、財源を確保していきたい。

Q 本市の経常収支比率は95.1％で県下2番目に悪く、100％に近いほど財政的に余裕がない。改善目標はあるか。

A **総務部次長**　本市の場合、経常収支比率を1％下げるのに、約1億3,000万円の歳出削減が必要である。事業総点検では、令和8年度予算編成までの財源確保目標を約4億円としており、経常収支比率としては、まず92％を当面の目標としたい。

Q 市長の残りの公約に予算が幾らかかり、どれぐらいの額を削減して財源を生み出したいのか。

A 検討中である。現状のまま事業を続けると、令和8年度予算編成時点で4億円の財源不足が生じる見込みであり、まずはこの4億円分の財源確保を目標としている。

Q 前市長は自身の報酬を下げる条例を出したが、市長にはその考えはあるか。

A **市長**　現時点ではそのような条例を制定する考えはない。

Q 市役所新庁舎について令和6年度には方向性や立地を定めるか。

A 令和6年度中には今後の方向性を見極めていきたい。

Q 令和6年度も保育園の待機児童は発生するか。

A 当初申し込み分については、待機児童は解消できる。

Q 育休退園の解消を求めているが、解消にいたるか。

A **子ども部長**　周知をして最短では令和7年度からの実施を目指したい。

Q 杁ケ池体育館の空調設置の「早期の対応」とは、いつまでに設置す

るか。

A **市長**　6月議会の補正予算で調査費を計上する。

Q「早期に」という言葉が嘘にならないようにしてほしいが、設置完了はいつなのか。

A **くらし文化部次長**　尾張旭市の事例では、調査研究に約1年、設計及び工事に1年半、合計で約2年半を要するため、令和8年度中の見込みである。

―――――――――――――――

【写真キャプション】「空調設置調査費を計上する杁ケ池体育館」